

六本木ヒルズ メトロハット 内周広告用照明 リニューアル



所在地：東京都港区六本木六丁目
 施主：森ビル株
 施工：電気/丸九電工
 リニューアル：平成25年3月

S232

開業10周年を迎えた六本木ヒルズの玄関口、メトロハットの広告用照明がリニューアル。新たに採用されたLED小形投光器が、掲出広告をより見やすく美しく際立たせています。

巨大な広告メディアとして六本木ヒルズの玄関口に立つメトロハット

開業以来、東京の新しい観光スポットとして、またビジネスの新たな中心地として、さまざまな情報を発信してきた六本木ヒルズ。その玄関口に立つ円筒形の建物、メトロハットは、巨大な広告スペースを備えたシンボルメディア。そのメトロハットで2013年3月、六本木ヒルズの開業10周年に先立ち、内周の広告用照明器具のリニューアルが実施されました。360°全周グラフィック広告が通行者にインパクトを与える内周壁面は、六本木駅と六本木ヒルズをつなぐ主要線にあり毎日多くの人々の目に触れる広告スペース。そこにふさわしい光環境の創出のための照明設計が練られました。

まぶしさと光のムラを軽減させたLED小形投光器を採用

器具選定や設置方法などの検討に、実機テストおよび現地調整が重ねられ、広告用照明として新たに生まれ変わったメトロハット内周の照明リニューアル。高さ4.4~6.1m、内周62.7mの巨大な円筒状の広告スペース上端に、約2.7m間隔の柱に設置されていたハロゲンスポットライト計24台をLED小形投光器に更新しました。

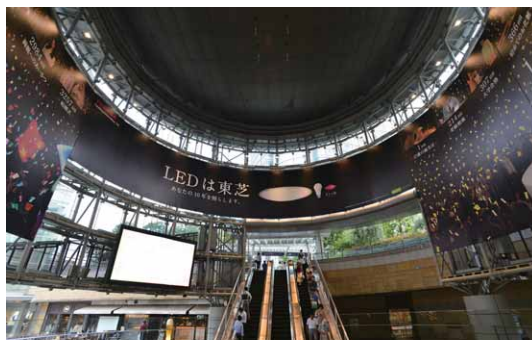
広告の見え方を考慮し、下面ガラスを拡散加工にすることで、明るさや光の広がりを改良するだけでなく、下から見上げた際のまぶしさを軽減させ直射光を和らげました。

設置するにあたって、光がより均一に広告面を照らせるように長さ約40cmのアームを採用。既存のハロゲンスポットライトと同じ電球色(色温度3000K、平均演色評価数Ra80)の光により平均78lxと既存器具に比べて約3倍の明るさを実現。しかも消費電力は2分の1と大幅な省エネ化と環境負荷の低減を可能にしました。

また、営業時間が長く通行量も多い場所であり、吹き抜け25m以上の高所に設置されていることから、既存器具では、管球交換などメンテナンスに苦労しましたが、寿命60,000時間のLEDへの更新によりメンテナンス回数の大幅な削減とコスト削減効果も期待されています。



器具光束4,230lmのLED小形投光器狭角形を2.7m間隔で計24灯を均等配置



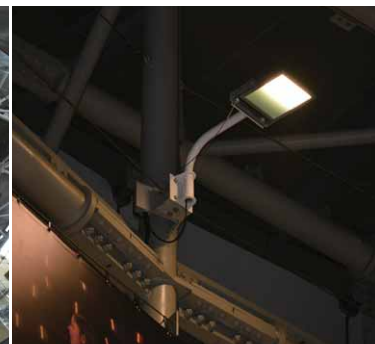
六本木通りレベルからメトロハット内周広告を望む



消灯時のLED小形投光器



地下1階からメトロハット天井を仰ぎ見る



点灯時のLED小形投光器

主な照明設備一覧				
設置場所	器具名	形名	台数	備考
屋内	LED小形投光器狭角形	LEDS-08904LN-LJ9-KAI	24	LED 平均消費電力: 66.4W